

# 新たな総合体育館の基本構想の項目（案）

（第7回総合体育館基本構想検討委員会資料）鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

資料 5

| 章                     | 項目                   | 主な内容  | 委員会での<br>検討状況       |
|-----------------------|----------------------|---|---------------------|
| 背景・趣旨                 | 背景・趣旨                | ○背景, 趣旨, これまでの検討経緯  | 第1回委員会で検討           |
|                       | 現状・課題                | ○本県屋内スポーツ競技における現状・課題<br>○現体育館・武道館の概要  | 第1回委員会で検討           |
| 前提条件<br>の整理           | 整備予定地                | ○整備予定地の概要<br>・鹿児島港本港区エリアの概要, 交通環境,<br>整備予定地の概要 (面積, 都市計画関係)   | 第7回委員会で検討           |
|                       | 施設コンセプト              | ○スポーツ振興の拠点機能とコンサート・イベント等多目的利用による交流拠点機能の概要   | 第4回委員会で検討           |
| コンセプト                 | 施設構成                 | ○メインアリーナ, サブアリーナ, 柔剣道場, 弓道場, その他諸室など, 各施設構成毎の整備内容 (スポーツ利用, 多目的利用双方を充たす規模, 仕様等)  | 第2回～第4回<br>委員会で検討   |
|                       | 施設規模                 | ○このほか, コンセプトに盛り込まれた機能等の整備<br>・スポーツ科学の研究・提供, スポーツ情報発信,<br>スポーツ関係者の交流・ネットワーク拠点,<br>健康増進 (ヘルス) サービス, 競技者以外でも気軽に<br>来場できる仕組みづくり, ニュースポーツへの対応 など                           |                     |
| 収支<br>・<br>経済波及<br>効果 | 配置計画                 | ○土地利用・配置計画 (駐車場含む),<br>平面・ゾーニング, 階層構成・断面計画のイメージ<br>○動線計画 (交通計画)   | 第7回～第8回<br>委員会で検討予定 |
|                       | 収支                   | ○施設規模や利用者数のシミュレーション等を踏まえた,<br>大まかな施設整備費・維持管理費及び収入の試算  | 第8回委員会で検討<br>予定     |
|                       | 経済波及<br>効果           | ○施設整備に伴う建設効果<br>○維持管理に伴う効果<br>○来訪者の消費行動に伴う効果  |                     |
|                       | 整備・<br>運営手法          | ○PFI等今後検討される整備・運営手法の整理  |                     |
| 整備スケジュール              | ○供用開始までの大まかな整備スケジュール |   |                     |
| 構想の<br>具体化            | 配慮事項                 | ○整備に当たって配慮すべき事項<br>・景観, 中心市街地との回遊性・融和性,<br>まちづくりや他事業との関連, エンバーサルデザイン,<br>地域資源 (木材等) の活用, 防災, 周辺環境,<br>快適性 (観客席, 照明・空調,<br>最先端の情報ネットワーク環境・映像・音響),<br>施設の持続可能性, 関係者との連携 | 第4回～第7回<br>委員会で検討   |
|                       | 参考資料                 | ○これまでの検討委員会での検討状況<br>・設置要綱, 委員名簿, 各回の議事概要, 資料,<br>知事へのたよりなど県民からの提案への対応  |                     |

本会議における論議の状況（令和3年第4回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

| 質問要旨  | 答弁要旨   |
|---|--|
| <p>第5回及び第6回の検討委員会の検討結果を知事はどう受け止めたのか、新たな総合体育館の整備に対する知事の思い、決意を示していただきたい。</p>  | <p>新たな総合体育館については、先般開催した第5回及び第6回の検討委員会において、評価基準や評価結果などについて客観的・専門的に熱心な御議論をいただいた結果、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして、今後、レイアウトなど、基本構想(案)の作成に向けた検討を進めることとされたところ。</p> <p>私としては、永年の課題である新たな総合体育館の整備について、一定の方向性をお示しいただいたことは、大きな前進であると受けとめている。</p> <p>検討委員会においては、新たな総合体育館について、スポーツ振興の拠点機能に加えコンサート・イベント等多目的利用による交流拠点機能を備えた施設として整備することが望ましいとされており、国際的なスポーツ交流や幅広いイベントの開催などにより、本港区エリアの賑わい創出など、まちづくりに資するものとなるよう、この方向性に沿って、基本構想(案)の作成に向けて、引き続き丁寧に検討を進めていただきたいと考えている。</p> <p>県としては、新たな総合体育館の整備の在り方等について、引き続き県議会で御論議いただくとともに、県民の皆様御意見も伺った上で、最終的には県の判断において基本構想を策定し、新たな総合体育館の整備に向けて着実に歩みを進めてまいりたいと考えている。</p> |
| <p>整備候補地をドルフィンポート跡地と住吉町15番街区の一体的なエリアとして検討を進める理由を示していただきたい。</p>  | <p>ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区については、交通利便性に優れ周辺に宿泊・商業施設が多く利便性が高いこと、中心市街地との回遊性等による経済波及効果が期待できることなどの点で、他の候補地と比較して優位であるとされたところ。</p> <p>この2つの候補地について、防災上の課題や敷地面積の確保、法令への適合性、費用面での留意点の評価項目においては、ドルフィンポート跡地に優位性はあるものの、まちづくりや他の事業との関連も考慮し、本港区エリアを一体的なエリアとして検討を進めていくこととされたところ。</p>  |
| <p>今回の整備候補地の選定に当たり、両地を一つのゾーンとして捉えた決定になったが、決定した理由について示していただきたい。また、評価項目は、4つのカテゴリーに分類されているが、これらの評価項目による結果も示していただきたい。</p> | <p>整備候補地については、第6回の検討委員会における議論の結果、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区について、交通利便性に優れ周辺に宿泊・商業施設が多く立地するなど利用者の利便性が高いこと、中心市街地との回遊性等による経済波及効果が期待できることなどの点で、他の候補地と比較して優位であるとされたところ。</p> <p>この2つの候補地について、防災上の課題や敷地面積の確保、法令への適合性、費用面での留意点の評価項目においては、ドルフィンポート跡地に優位性があるものの、まちづくりや他の事業等との関連も考慮し、本港区エリア内に近接する両用地について、一体的なエリアとして検討を進めることとされたところ。</p> <p>また、カテゴリーごとの評価結果については、アスリートファーストと経済波及効果・収益性の項目については、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区が、それから防災上の課題など安心・安全の項目については、市脇田処理場等跡地が、敷地面積の確保など実現可能性の項目については、ドルフィンポート跡地が最も優位とされたところ。</p>  |

## 本会議における論議の状況（令和3年第4回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

| 質問要旨  | 答弁要旨   |
|---|--|
| <p>安心・安全の観点で欠格事由に該当する場合は直ちに除外すべきとの意見があったが、選定地については、安心・安全面における懸念はないものと確認してよいか示していただきたい。</p>  | <p>整備候補地の選定に当たり、安心・安全の観点から、防災上の課題及び周辺住宅への影響について評価を行った。</p> <p>防災上の課題については、県土砂災害警戒区域等マップ、鹿児島市津波ハザードマップ及び県水害リスクマップをもとに、土砂災害、津波、洪水による影響の評価を行い、その結果、ドルフィンポート跡地については、敷地のごく一部が洪水の浸水想定区域に含まれ、住吉町15番街区については、敷地の一部が津波及び洪水の浸水想定区域に含まれているが、いずれもかさ上げ等の措置により、対応が可能であることを確認したところ。</p> <p>また、周辺住宅への影響については、周辺50メートル以内の住居数をもとに騒音による影響の評価を行い、その結果、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区は、周辺の住宅数が少ないことから、一定の配慮は必要であるが、対応が可能であることを確認したところ。</p> <p>これらを踏まえ、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区については、安心・安全の観点において、体育館の建設に相当な困難が生じ、欠格とする程の影響はみられないと判断したところ。</p>  |
| <p>まちづくりや他事業との関連など、今後の留意点に関する附随的意見については、どのように整理するつもりか示していただきたい。さらに、まちづくりのデザインも含めて鹿児島市としっかりと協議する必要があると考えるが、県としての考え方を示していただきたい。</p>                               | <p>整備候補地とされた鹿児島港本港区エリアに係る今後の留意点のうち、本港区まちづくりランドデザインについては、総合体育館は、スポーツ振興の拠点機能と多目的利用による交流拠点機能を有することにより、年間を通じて最大約40万人の利用が見込まれるなど、県内外の様々な人々が利用・交流し賑わいが生まれる施設となることが想定されることから、同開発コンセプトとも整合するのではないかと考えている。</p> <p>コンベンション・展示機能を備えた施設の整備可能性調査については、総合体育館がコンベンションや展示会場としても利用できることを前提に、調査を進めていくこととなると考えている。</p> <p>サッカー等スタジアム及び市電路線新設については、鹿児島市において検討が進められており、将来的な議論として、県と市の間で十分に連携を図っていくこととなること。</p> <p>検討委員会においては、これらの留意点についての県の考え方を説明することとしており、基本構想(案)の作成に向けて、引き続き丁寧に検討を進めていただきたいと考えている。</p> <p>まちづくりを所管する鹿児島市とは、先般開催した県・市意見交換会においても、県と市の間で、引き続き連携を図りながら、新たな総合体育館の整備に向けた取組を進めていくことを確認したところ。</p> |
| <p>これから基本構想(案)の作成になるが、県民の意見反映については、どのような手法で進めていくのか示していただきたい。パブリックコメントの前に基本構想(案)に盛り込むべき事項等について、県民に意見を求めるべきと考えるが、見解を示していただきたい。併せて今後の進め方、スケジュールについても示していただきたい。</p> | <p>新たな総合体育館の整備に向けて、県としては、今後、検討委員会における検討を進める上で、鹿児島港本港区エリアにふさわしい体育館として、基本構想に盛り込んで欲しい事柄等について、広く県民の皆様から御意見を募集し、その結果を検討委員会にお示ししたいと考えている。</p> <p>基本構想(案)については、県議会に御説明し、御論議いただくとともに、パブリックコメントにより、改めて県民の皆様のお意見も伺った上で、今年度中に基本構想を策定したいと考えている。</p>  |

## 本会議における論議の状況（令和3年第4回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

| 質問要旨  | 答弁要旨  |
|---|---|
| <p>新総合体育館は、徹底したユニバーサルデザインの考え方に立って整備すべきと考えるが決意を伺いたい。</p>                 | <p>ユニバーサルデザインへの配慮については、新たな総合体育館の整備に当たっての重要な視点であると認識をしており、これまで検討委員会においても、様々な御意見をいただいているところ。</p> <p>9月に開催した第4回の検討委員会においては、これらを踏まえ、今後の検討に当たっての視点として、障害者や高齢者を含む全ての方々が利用しやすい施設になるよう配慮することを盛り込んだ施設のコンセプトについて、委員間の共通認識が得られたところ。</p> <p>このコンセプトについては、基本構想(案)に盛り込むべき事項として、検討委員会における検討が進められることになると考えている。</p> <p>具体的なユニバーサルデザインへの対応については、基本構想策定後の基本設計や実施設計の段階において、インクルーシブデザインの考え方など先進事例の対応状況等も踏まえつつ、関係者等からの御意見も伺いながら、積極的に検討してまいりたいと考えている。</p>  |
| <p>候補地を鹿児島市に決定してから、5か所を選定するには早いと思ったが、どういった基準で選定されたのか、具体的に示していただきたい。</p> | <p>整備候補地の選定に当たっては、第4回の検討委員会で立地が望ましいとされた鹿児島市内において、概ね1万5千平方メートル以上の土地を対象に、県有地については、未利用地をリストアップするとともに、国有地、市有地、民有地については、鹿児島財務事務所、鹿児島市、県内の不動産関係団体に対し、譲渡可能な土地の照会を行ったところ。</p> <p>この結果、市有地については、1か所の回答があり、国有地と民有地については、該当がない旨の回答を得られたところ。</p> <p>このほか、県議会や知事へのたより等を通じて、これまで御意見をいただいていた土地については、鹿児島市外であることや必要な面積を確保できないこと、所有者に譲渡意思がないことなどを確認し、候補地として適さないと判断したところ。</p> <p>これらを踏まえ、第5回の検討委員会に、整備候補地案として、鴨池ニュータウン9・10号街区、県農業試験場跡地、住吉町15番街区、ドルフィンポート跡地、市脇田処理場等跡地を提案し、検討の結果、これらの5か所が整備候補地として選定されたところ。</p> |
| <p>新たな総合体育館の整備について、意見交換会において鹿児島市からどのような意見がだされたのか示していただきたい。</p>          | <p>先般開催した県・市意見交換会においては、県から、検討委員会において、鹿児島市内の5か所が整備候補地として選定されたこと等について説明し、引き続き、市と連携を図りながら、整備に向けた取組を進めていきたい旨申し上げた。</p> <p>鹿児島市からは、総合体育館は、スポーツを通じたまちづくりを進める市にとっても大変重要な施設であり、都市計画法等の課題も想定されることから、市と関係団体等と十分に協議・連携を図りながら取組を進めていきたいなどの意見をいただいたところ。</p> <p>これらの意見を踏まえ、県と市の間で、引き続き連携を図りながら、総合体育館の整備に向けた取組を進めていくことを確認したところ。</p>  |

## 本会議における論議の状況（令和3年第4回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

| 質問要旨  | 答弁要旨  |
|---|---|
| <p>今後のスケジュールと建設を進めるに当たり、行財政運営戦略指針の中にも多様な主体に連携と明記されているが、PFI、PPPなどの積極的な活用をすべきと考えるが見解を伺いたい。</p>  | <p>鹿児島県PPP/PFI手法導入優先的検討規程において、公共施設等の整備等の方針を検討するに当たっては、PPP/PFI手法の導入が適切かどうかを、自ら整備を行う従来型手法に優先して検討することとされている。新たな総合体育館については、基本構想の策定後、PPP/PFI手法導入の可能性を検討することとなると考えている。</p>  |
| <p>整備候補地とされた鹿児島港本港区エリアに一体的に整備することで、このエリアで検討されているコンベンション施設やサッカー等スタジアムが立地できなくなることが懸念され、今後、レイアウトなどの検討に当たっては、これら他の事業との協議・調整を行うことが不可欠だと考えるが、今後の検討の方向性について、見解を伺いたい。</p> | <p>新たな総合体育館の整備については、スポーツの振興拠点に加えて、多目的利用による交流拠点として、国際スポーツ交流や幅広いイベントなど多くの開催などを通じて、この地域における賑わいの創出などに貢献するものであるというふうに考えている。</p> <p>今回、新たな総合体育館の整備候補地とされた鹿児島港本港区エリアについては、検討委員会において、まちづくりや他事業との関連について留意すべきというふうにされたところであり、こうした方向に沿って今後基本構想(案)をまとめていただきたいというふうに考えている。</p> <p>このうち、コンベンション・展示機能を備える施設については、現在、同施設に係る整備可能性調査を実施しているところであり、総合体育館がコンベンションや展示会場としても利用できることを前提に調査を進めていくことになる。</p> <p>サッカー等スタジアムについては、鹿児島市において検討が進められているところであるが、まだ具体的な姿に出来てないが、将来的な議論として、県と市の間で十分に協議していけるように今後の検討を進めていきたいというふうに思っている。</p> <p>検討委員会においては、このような県の考え方を説明した上で、基本構想(案)の作成に向けて引き続き丁寧に検討を進めていただきたいと考えている。</p> |
| <p>今回の整備候補地選定に当たり、MICEの開催回数を指標の一つとして、評価がなされているが、各候補地の開催回数の検討は、どの程度の規模の施設を前提に行ったのか示していただきたい。</p>   | <p>今回、整備候補地の選定に当たり、経済波及効果の項目において、MICEの開催回数を指標の一つとして評価を行ったところ。</p> <p>MICEの開催回数については、昨年度実施した需要予測調査結果を参考に、それぞれの候補地において、交通利便性や宿泊・商業施設の集積状況等を踏まえ、どの程度見込めるか検討を行った。</p> <p>検討に当たり、施設の規模については、検討委員会において望ましいとされている現在のコンセプトに基づいて、メインアリーナのフロア面積約3,700平方メートル、最大収容人数8千人程度、サブアリーナのフロア面積約1,600平方メートルなどを前提としたところ。</p>  |

## 本会議における論議の状況（令和3年第4回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

| 質問要旨  | 答弁要旨  |
|---|---|
| <p>県の総合体育館、サッカー等スタジアム、コンベンション展示施設、本港区エリアまちづくりなど県都鹿児島市の大型プロジェクトに関しては、鹿児島市と総合的に本質的に連携すべきだと考えるが、どのように今後進めるつもりなのか見解を伺いたい。</p>     | <p>新たな総合体育館、サッカー等スタジアム及びコンベンション展示施設の整備、鹿児島港本港区エリアのまちづくりについては、鹿児島市におけるまちづくりにも密接に関連していることから、同市と緊密な連携を図ることが重要であると考えている。</p> <p>先般開催した県・市意見交換会においても、新たな総合体育館の整備については、都市計画法等の課題も想定されることから、県と市の間で今後も引き続き連携を図りながら取組を進めること、サッカー等スタジアムの整備については、県と市の間で課題や認識を共有し、今後も引き続き緊密な連携を図りながら取組を進めること、鹿児島港本港区エリアについては、県・市双方のまちづくりにとって重要なエリアであり、同エリアのまちづくりについては引き続き連携して取り組んでいくことなど、今後とも緊密に連携していくことを確認したところ。</p>   |
| <p>① 5つの候補地に私有地は含まれていなかったが、私有地の利活用については検討しなかったのか示していただきたい。</p> <p>② 私有地も検討したのであれば、どのような課題や理由により5つの候補地に含まれなかったのか示していただきたい。</p> | <p>新たな総合体育館の整備候補地の選定に当たり、私有地については、鹿児島市内において、概ね1万5千平方メートル以上の譲渡可能な土地を対象に、鹿児島県宅地建物取引業協会、全日本不動産協会鹿児島県本部、日本不動産研究所鹿児島支所の3団体に対し照会を行ったところ。</p> <p>この結果、譲渡可能な土地については、該当がない旨の回答を得たところ。</p> <p>このほか、県議会や知事へのたより等を通じて、これまでに様々な御提案をいただいていたところであるが、これらの土地については、鹿児島市外であることや必要な面積を確保できないこと、譲渡可能性などを確認して、候補地として適さないと判断されたところ。</p>  |
| <p>第6回総合体育館基本構想検討委員会では、どのような意見が出され「ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして、今後、検討を進めることが望ましい」との結論に至ったのか、その経緯を示していただきたい。</p>             | <p>整備候補地については、第6回の検討委員会において、評価結果を踏まえ、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区について、交通利便性に優れ周辺に宿泊・商業施設が多く立地するなど利用者の利便性が高いこと、中心市街地との回遊性等による経済波及効果が期待できることなどの点で、他の候補地と比較して優位であるとされたところ。</p> <p>また、この2つの候補地について、防災上の課題や敷地面積の確保、法令への適合性、費用面での留意点の評価項目においては、ドルフィンポート跡地に優位性があるとされたところ。</p> <p>委員からは、整備候補地について、客観的な評価結果や選手への配慮、国際大会の誘致等の観点からドルフィンポート跡地が望ましいとする意見が出された一方で、同跡地を主軸に検討することには異論はないが、コンベンションやサッカースタジアムとの関連を考えると、駐車場の整備も含め住吉町15番街区も含めて一体的に検討してはどうか、などの意見が出されたところ。</p> <p>検討委員会としては、これらの意見を踏まえ、まちづくりや他の事業等との関連も考慮し、本港区エリア内に近接する両用地について、一体的なエリアとして検討を進めることとされたところ。</p> |

## 本会議における論議の状況（令和3年第4回定例会）

鹿児島県総合政策部スポーツ施設対策室

| 質問要旨   | 答弁要旨   |
|--|--|
| <p>鹿児島港本港区エリアまちづくりグランドデザインとの整合性や知事が表明しているコンベンション施設との関係を、今後どのように整理するのか示していただきたい。</p>                | <p>今回、新たな総合体育館の整備候補地とされた鹿児島港本港区エリアについては、検討委員会において、まちづくりや他事業等との関連について留意すべきとされたところ。</p> <p>このうち、本港区まちづくりグランドデザインについては、総合体育館は、スポーツ振興の拠点機能と多目的利用による交流拠点機能を有することにより、年間を通じて最大約40万人の利用が見込まれるなど、県内外の様々な人が利用・交流し賑わいが生まれる施設となることが想定されることから、同開発コンセプトとも整合するのではないかと考えている。</p> <p>また、コンベンション・展示機能を備えた施設の整備可能性調査については、総合体育館がコンベンションや展示会場としても利用できることを前提に、調査を進めていくことになると考えている。</p> <p>検討委員会においては、これらの留意点についての県の考え方を説明することとしており、基本構想(案)の作成に向けて、引き続き丁寧に議論を進めていただきたいと考えている。</p>                                |
| <p>自民党県議団で独自に実施した県民へのアンケート調査でも、早期整備の意向が多数出されているが、基本構想の策定については、今後、どのようなスケジュールで進めていくのか示していただきたい。</p> | <p>新たな総合体育館に係る基本構想策定までのスケジュールについては、今後、検討委員会において基本構想(案)の検討を進めていただきながら、鹿児島港本港区エリアにふさわしい総合体育館として、基本構想に盛り込んで欲しい事項等について、広く県民の皆様から御意見を募集し、その結果を検討委員会にお示しし、基本構想(案)をとりまとめていただきたいと考えている。</p> <p>基本構想(案)については、県議会に御説明し、御論議いただくとともに、パブリックコメントにより、改めて県民の皆様御意見も伺った上で、最終的には県の判断において基本構想を今年度中に策定したいと考えている。</p>  |
| <p>今後の基本構想検討委員会における具体的な検討項目や、基本構想の策定に向けたパブリックコメントなどスケジュールについて示していただきたい。</p>                        | <p>新たな総合体育館については、先般開催した検討委員会において、客観的・専門的に熱心な御議論をいただいた結果、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討を進めることとされたところ。</p> <p>今後、鹿児島市と意見交換を行った上で、検討委員会において、レイアウト、大まかな施設整備費や収支などについてお示しし、基本構想(案)の作成に向けて、引き続き検討を進めていただきたいと考えている。</p> <p>基本構想策定までのスケジュールについては、今後、検討委員会において基本構想(案)の検討を進めていただきながら、鹿児島港本港区エリアにふさわしい総合体育館として、基本構想に盛り込んで欲しい事柄等について、広く県民の皆様から御意見を募集し、その結果を検討委員会にお示しし、基本構想(案)をとりまとめていただきたいと考えている。</p> <p>基本構想(案)については、県議会に御説明し、御論議いただくとともに、パブリックコメントにより、改めて県民の皆様御意見も伺った上で、今年度中に基本構想を策定したいと考えている。</p> |